

栗山町まちづくり懇談会 議事録

日時：令和4年10月31日（月）16：00～17：19

場所：旭台環境改善センター

出席者：10人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. 懇談

- (1) 第7次総合計画の策定について
- (2) 自由懇談

4. その他

○空き家相談窓口チラシ参照

5. 閉会

《懇談内容》

【自由懇談】

町民：継立中学校の跡地の活用に関して、民間事業者に委託して事業が始まるかと思っていたが、なかなか進んでいないように見受けられる。進捗状況はどうなっているか。

副町長：継立中学校の跡地の活用について、公募で事業者を決定して進めていたが、コロナ禍で計画通りに進められなかった。また貸与するにあたって、校舎の雨漏りなど設備面の課題もあった。改修工事が今年度で終わったところである。令和5年4月から、改修工事後に事業者に貸与して、キャンプ施設としての事業が始まる。

町民：スキー場跡地の利活用の進捗状況はどうなっているか？

副町長：今時点では決定していない。懇談会の中でたくさんのご意見をいただいていた。最も多かった意見が植樹である。正式には決まっていないが、来年度までに内部で検討しながら、町民の皆様と相談して決定したい。

町民：栗山ロッキーズへのご理解とご協力に感謝。青森県の北日本大会で3位などの結果を残せたことについて感謝。これも栗山町ならではの協力体制や夢づくり基金の活用があったこと。また、栗山町出身の2名が甲子園に出場した。自分の子供も野球をしたいと言っていて、部活動に参加しようと思っている。今後は働き方改革により、部活の在り方

が変わってくる。栗山町ではどうなってくるのか。

教育長：まだ決まりきっていないのが現状である。国の方向性が 12 月に決まる予定だが、遅れると思う。国の方向性が具体的に決定次第、栗山町で検討し各連盟にお知らせしていく。

町民：部活動の運営を民間に委託していくイメージを持っている。

教育長：民間に委託したり、学校から切り離して少年団として活動したりするなど、様々な形が考えられる。

町民：工業団地造成で関係する農地について、来年の作付け種の最終注文の際に役場からの連絡がなく戸惑った。次年度の経営計画なども関係するので、土地の持ち主でなくても、耕作の作付け者との連絡を早めに行ったほうが良いと思う。

町長：お詫び申し上げたい。今後、作付け者との連絡も密に取っていく。

17：19分終了